

## スポーツ界のパワーハラスメント【理事長コラム】

最近、レスリング・体操・ボクシングなど、指導者のパワハラが多く報道されている。

多くは熱心な指導者が訴えられている。暴力はいけないが、言葉の指導にもパワハラがあると言われている。

指導はコーチングとも言われるが、コーチの言葉は元来「乗り物」であり選手を乗せて目的地まで運ぶというのが原義である。



理事長 田中 誠

そこでは強要も脅しもあるのであるが、熱心な指導者はついつい言葉にも態度にも、強いものが噴出するのだろう。それを受け取る選手が苦痛を感じ、さらに指導者に不信を抱くとき、パワハラとなる。指導者はとても難しい指導法が要求される。

指導者がパワハラと意識していないなくても（多くは、無意識に行われるが）、選手がこれは自分に対するパワハラだと感じた時にパワハラが成立する。

これは意識や心理状態が重要であり、お互いに相手がどう感じ、どう考えているかを理解すると言うコミュニケーション能力の問題でもある。



## 職員研修を行いました

あい寿の丘では、職員の介護技術アップのために、研修を定期的に行っており、今回は身体拘束について行いました。

身体拘束とはどのような状態を指し、またどういった場合に拘束が行われてしまうのかを職員同士で話し合い、理解を深めました。

この研修で学んだことを踏まえ、既に常日頃の介護に役立てています。

## りんごケーキを味わいました

そよかぜデイサービスでは、手作りおやつで旬の果物「りんご」を使ってケーキを焼きました。

皆さん、りんごケーキを「おいしい」「やっぱり手作りは最高だね」と、満足そうに召し上がっていました。

食べた後、何となく皆さんの頬が赤くなっているのは気のせいでしょうか？

あい寿の丘 ほっかほか  
ふれあいホットニュース

## 運動会を楽しみました



9月24日に、あい寿の丘で運動会が開催され、暑さも和らいだ運動会日和の中、ご利用者の白熱した競技が繰り広げられました。

赤白対抗ぬいぐるみ送りでは、いつもはオットリされている方が「はよ。はよ。」とせかす場面も見られ、とても楽しそうでした。

お昼ご飯には、厨房の手作り運動会弁当がふるまわれ、心もお腹も満たされた一日になりました。

日間賀島・篠島の民生委員さん、お手伝い頂き、ありがとうございました。



## ケアハウスの作品作り

ケアハウスでは、10月の秋祭りに向けてご利用者の作品作りが始まりました！

大きな作品は、皆さんが集まって作ることが中々難しく、小さいものを多めに作ってもらいましょうという事になりました。

作品は、サルボボをまねてケアボボです。「糸が通らんで頼むわ」「付けるのはここかな？」と真剣に作られております。



## 敬老お祝いに色紙をいただきました

ひだまりのご利用者に、色紙の贈呈がありました。

これは、社団法人中部日本書道会半田支部様から役場の保険介護課を通じて、南知多町内の敬老者へ贈呈されたものです。

いただいた色紙はお部屋に飾って、毎朝その言葉を見て元気に過ごしておられます。

----- 南知多町デイサービスの敬老会 -----

沢山の方が日替わりで来所され「絵本村」の皆さんの中には、くいいるように紙芝居を見つめ童心に返っていたようです。「大正琴グループ」の日には琴の良い音色が響き渡りました。他にも、手遊び歌・体操と盛り沢山の楽しい敬老会となりました。

## 南知多町デイサービスの作品作り

秋祭りの展示用にひょうたんを作りました。

軽い紙粘土で思い思いの形を作り、好みの和紙を選びました。和紙を貼ったり、三つ編みにしたリリアンを使ったりと、色々工夫され、とても素敵なひょうたんが出来ました。

作品展が終わったら自分の鞄に付ける事を楽しみにされています。



## 秋の壁画ができました

色画用紙に葉の輪郭を描く人、切り取る人変化をつけるために先を丸める人などの工程を経て、秋らしい銀杏並木の壁面が完成！

秋と言えば「食欲」「読書」などがありますが「芸術の秋」もなかなか良いです。

この壁画を見ると、秋を満喫しに紅葉見学に行きたくなりますよね。



## 手作りおはぎを味わいました

9月のお彼岸には、ケアハウスのみなみ会で、おはぎを作りました。

皆さんからは「小さいから2つあっても食べられるね」「甘すぎないからおいしい」と、とても喜んで頂けました。



## ----- ケアハウスの敬老会で出張寿司 -----



外出が難しいご利用者も、目の前で握った寿司が食べられるのは大変嬉しく「お腹一杯で苦しい・まだ食べたい気がするけど入らない」と、とても満足そうでした。ただ、お昼に食べ過ぎた為…夕飯前に「お腹が減らん」という方もみえましたよ。